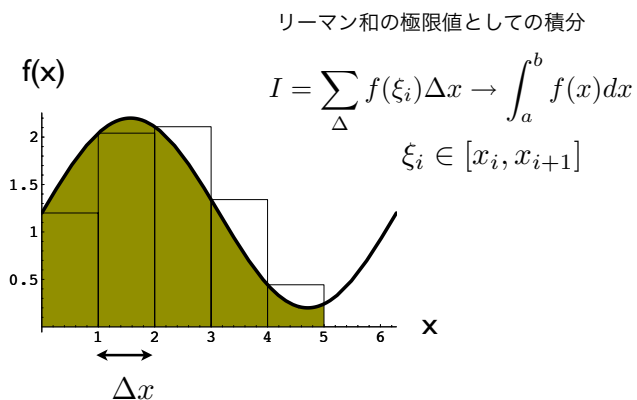


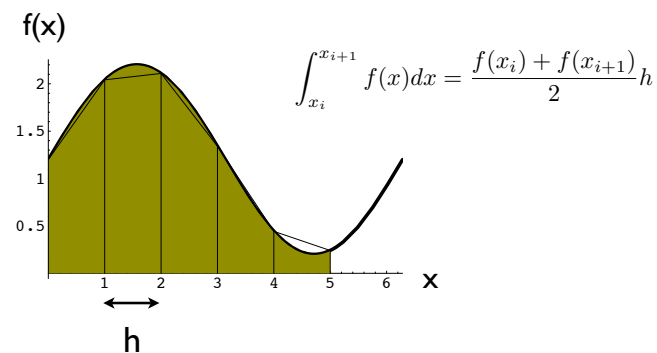
関数の積分

与えられた関数の（リーマン）積分 = 区間面積



台形公式

- 被積分関数を1次関数の接合として近似し、台形の面積の和として積分を求める方法



$$I = \int_a^b f(x) dx = \left\{ \frac{f(a) + f(b)}{2} + \sum_{i=1}^{n-1} f(a + i \times h) \right\} h$$

台形公式の誤差 I

- 関数を直線で近似することによる誤差（関数が一次関数でない場合）

真の値

$$I = \int_{x_i}^{x_{i+h}} f(x) dx = \int_0^h f(x_i + x) dx$$

$$= \int_0^h \left[f(x_i) + f'(x_i)x + \frac{f''(x_i)}{2}x^2 \dots \right] dx$$

$$= f(x_i)h + \frac{f'(x_i)}{2}h^2 + \frac{f''(x_i)}{6}h^3 + O(h^4)$$

近似値

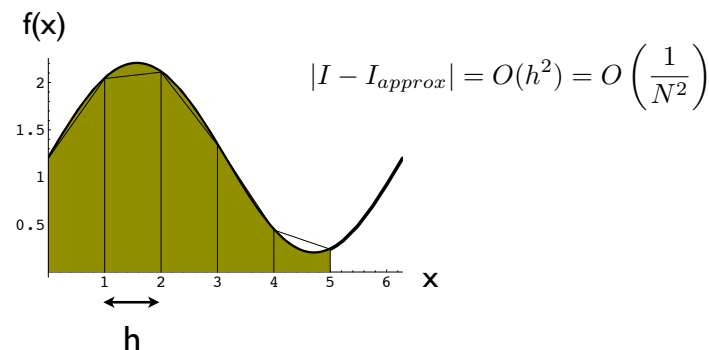
$$I_{approx} = \frac{h}{2} [f(x_i) + f(x_{i+h})]$$

$$= \frac{h}{2} \left[f(x_i) + f(x_i) + f'(x_i)x + \frac{f''(x_i)}{2}x^2 \dots \right] dx$$

$$= f(x_i)h + \frac{f'(x_i)}{2}h^2 + \frac{f''(x_i)}{4}h^3 + O(h^4)$$

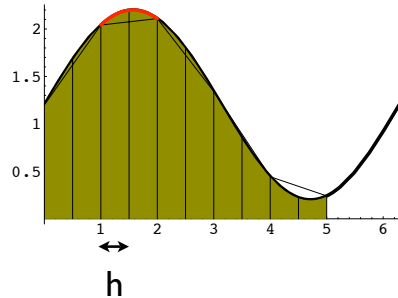
台形公式の誤差 2

- 一つの台形積分にかかる誤差のオーダーは、刻み幅 h の 3 乗に比例
- 積分範囲を N 分割した場合 $h = (b-a)/N$ 。累積誤差は h の 2 乗に比例



シンプソンの公式

- 被積分関数を2次関数の接合として近似し、2次曲線の面積の和として積分を求める方法



$$(x_i, f(x_i)), (x_{i+1}, f(x_{i+1})), (x_{i+2}, f(x_{i+2}))$$

を通る2次曲線(赤色)で関数を近似

$$P(x) = f(x_i) \frac{(x - x_{i+1})(x - x_{i+2})}{(x_i - x_{i+1})(x_i - x_{i+2})} + f(x_{i+1}) \frac{(x - x_i)(x - x_{i+2})}{(x_{i+1} - x_i)(x_{i+1} - x_{i+2})} + f(x_{i+2}) \frac{(x - x_i)(x - x_{i+1})}{(x_{i+2} - x_i)(x_{i+2} - x_{i+1})}$$

ラグランジュの補完

シンプソンの公式2

- 2次関数による近似値。誤差は h の5乗のオーダー

$$I_{approx} = \int_{x_i}^{x_{i+2}} P(x) dx = \frac{h}{3} \left[f(x_i) + 4f\left(\frac{x_i + x_{i+2}}{2}\right) + f(x_{i+2}) \right]$$

$$\left| \int_{x_i}^{x_{i+2}} f(x) dx - I_{approx} \right| = O(h^5)$$

- 累積誤差は h の4乗のオーダー

$$|I - I_{approx}| = O(h^4) = O\left(\frac{1}{N^4}\right)$$

シンプソンの公式の区間分割数は偶数であることに注意

問題

以下の積分それぞれについて、

- 1) リーマン和、2) 台形公式、3) シンプソンの公式、を用いた数値積分を求めよ。

また、区間分割数 N を10, 100, 1000 と変えたとき、真の積分値と3つの方法による近似値との誤差を比較すること。

$$\int_0^1 x^2 dx$$

$$\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx$$

$$\int_0^\pi \sin(x) dx$$

$$\int_{-1}^1 \sqrt{1-x^2} dx$$

	$N=10$	$N=100$	$N=1000$
1) Riemann sum
2) Trapezoidal
3) Simpson
Error